



かけはし

【ホームページアドレス】 <http://www.akunehp.com/>

Vol.103

2015年度

No.1

当院は、地域医療の中核施設として人を大切にし、信頼される医療を目指します。



「桜・2015」

◆基本方針

- 満足度の高い急性期高度医療の提供を目指します。
- 充分な説明と納得による医療を心掛けます。
- 「かかりつけ医」との密接な連携による医療を行います。
- たゆまぬ向上心と学習により、より良い医療を目指します。
- 公正で健全な運営を行います。

CONTENTS

*心臓リハビリテーション.....	1	*医療機能情報提供について.....	6
*患者さんの権利と責務.....	1	*健康教室のご案内.....	7
*脳神経外科のご案内.....	2	*4月、5月の出水郡医師会 日曜祭日当番医.....	7
*新人紹介.....	2	*お知らせ.....	7
*平成26年度外来患者満足度調査結果報告.....	3~4	*編集後記.....	7
*リハビリの窓.....	5		
*外来診察表.....	6		

広報誌「かけはし」は、当院のホームページでもご覧になれます。

健康教室のご案内



日 時	テ ー マ	講 師
5月14日(木) 14:00~15:00	生活習慣病と食事	管理栄養士 川畠 彩子

*健康教室会場：出水郡医師会広域医療センター 管理棟4階ホール

お問い合わせ【健康教室担当者】

出水郡医師会広域医療センター
TEL 73-1331 FAX 73-3708 木山淳子

4、5月の出水郡医師会 日曜祭日当番医

変更になる場合がございますので、受診される前に医療機関にお問い合わせ下さい。

月 日	出 水 市	阿 久 根 市	長 島 町
4月 26日(日)	おかだクリニック TEL 63-7011 せき耳鼻咽喉科クリニック TEL 64-1187	門松医院 TEL 64-6100	長島クリニック TEL 88-6405
29日(水)	林泌尿器科クリニック TEL 64-8800 さくら通りクリニック TEL 62-2311	山田クリニック TEL 72-0420	平尾診療所 TEL 88-2595
5月 3日(日)	キッズクリニック TEL 63-7707 福永内科循環器科 TEL 62-8200	北国医院 TEL 72-0016	飯尾医院 TEL 88-5040
4日(月)	よした泌尿器科クリニック TEL 63-7800 二宮医院 TEL 62-0167	阿久根眼科 TEL 72-0040	鷺巣診療所 TEL 86-0054
5日(火)	よう皮ふ科医院 TEL 63-1112 奥田蘇明会医院 TEL 82-3998	林胃腸科外科 TEL 73-3639	長島クリニック TEL 88-6405
6日(水)	東医院 TEL 67-1861 つかさとクリニック TEL 67-5560	植村整形外科 TEL 72-1041 脇本病院 TEL 75-2121	平尾診療所 TEL 88-2595
10日(日)	友愛クリニック TEL 64-2101 わかば皮フ科クリニック TEL 64-1313	有村産婦人科・内科 TEL 73-4180	鷺巣診療所 TEL 86-0054
17日(日)	福元医院 TEL 67-3200 荘記念病院 TEL 82-3113	上園医院 TEL 73-1055	飯尾医院 TEL 88-5040
24日(日)	平田整形外科クリニック TEL 62-8801 しもぞのクリニック TEL 63-8300	内山病院 TEL 73-1551	長島クリニック TEL 88-6405
31日(日)	出水病院 TEL 62-0419 こどもクリニック永松 TEL 64-1500	鶴見医院 TEL 73-0553	平尾診療所 TEL 88-2595

お
知
ら
せ

この度、出水郡医師会広域医療センターのホームページをリニューアルいたしました。
患者さん、医療関係者の皆様にとって、有益となる様々な情報を発信して参ります。
今後とも出水郡医師会広域医療センターのホームページをよろしくお願い申し上げます。

<http://www.akunehp.com/>

編集後記

3/21(土)鹿児島をスタートした桜前線も順調に北上し、春の ottazureと共に新年度のスタートとなりました。当院も44名の新たな仲間を迎え、新人研修がはじまり活気に満ち溢れています。春らしいあたたかい陽気になりましたが、まだまだ朝夕は肌寒さを感じる日もあります。季節の変わり目、油断せず体調管理をしっかりしたいものです。
(川畠)

ビリテーション病棟があり、主に脳卒中の患者さんが入院されております。30人前後の方が入院されており、入院期間は疾患によって相当に異なってきます。退院後の生活につきましても、医療相談員や行政機関・かかりつけ医とも連携しながら、なるべくよい方向になるよう努めています。



脳神経外科外来スタッフ

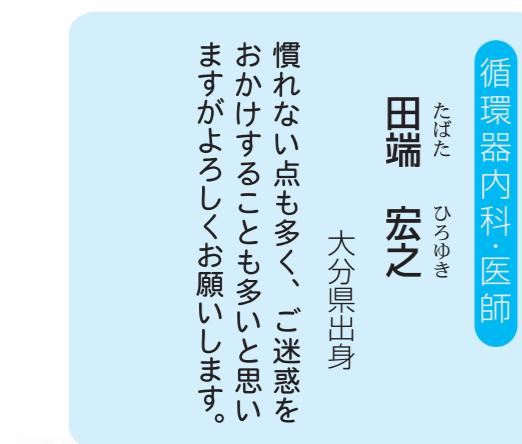
なつております。主に開業医からの紹介を頂いた患者さんの診察ならびに、てんかんや脳腫瘍等、特に当院での定期通院が必要な患者さんの診療を行なつております。

眼瞼痙攣・顔面痙攣（顔面のびくつき）や三叉神経痛（顔面のいたみ）の治療も行なつておりますので、ご相談いただければ対応致します。

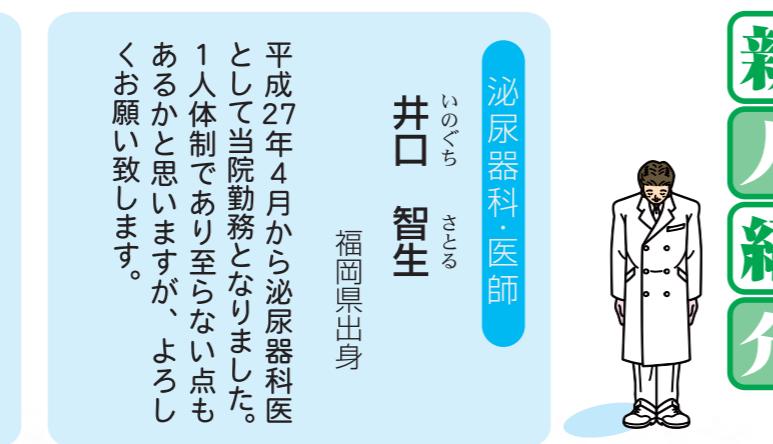
脳神経外科のご案内

当院は現在1人体制で診療を行なつておりますので、24時間・365日対応が困難なこともあります。地域の皆様にご迷惑をお掛けしております。何卒事情のご理解の程よろしくおねがい申し上げます。

外来は火・水・木の午前中に行
神経に関する疾患を扱つております。



鹿児島市出身
4月から消化器内科に赴任しました、山筋です。よろしく
お願いします。



卷之三

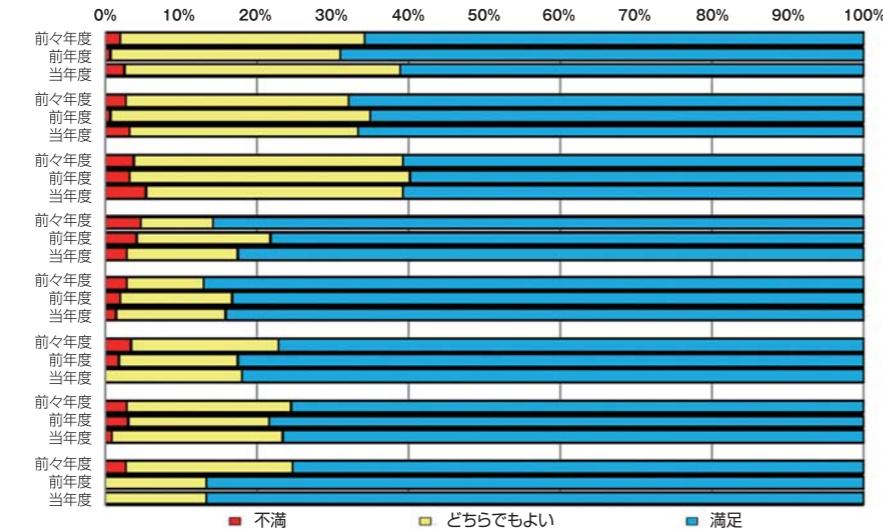
患者さんの権利と責務

～出水郡医師会広域医療センターは患者さんの権利を尊重します～

- 1.だれでもが良質で安全な医療を受ける権利があります。
 - 2.人としての尊厳は、全ての医療において尊重されます。
 - 3.医療上の全ての個人情報は保護されます。
 - 4.検査や治療、薬の内容等については、十分な情報提供と説明を受けて、理解と同意に基づいた医療を受ける権利があります。
 - 5.診療録等の内容については、本院の規則に基づき、情報開示を受ける権利があります。
 - 6.自らの健康に関する情報は、医療提供者に早く、正確に伝える責務があります。
 - 7.病院の諸規則を守り、他の方の療養や職員の業務に支障を来たさないように配慮する責務があります。
 - 8.他の医師や第三者の意見を聞き、納得した医療を受ける権利(セカンドオピニオン)があります。

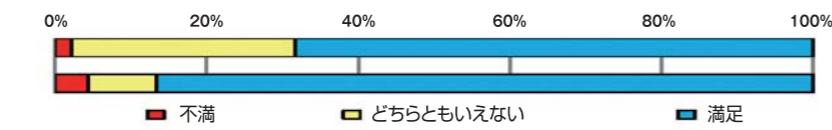
患者さんへの情報提供

①当院の理念や基本方針



「かけはし」や「医療情報センター」の認知度

⑨院内広報誌「かけはし」の内容

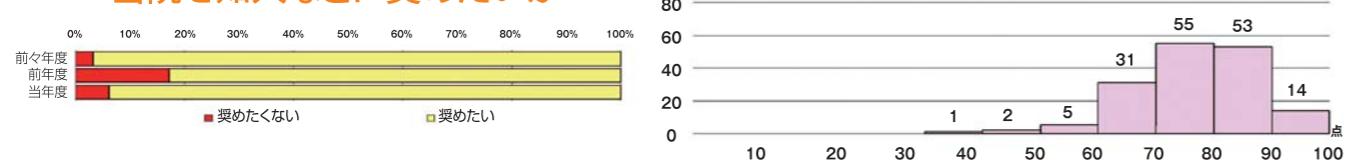


情報提供において、①当院の理念や基本方針、②患者の権利と責務、③意見箱の回答内容等については満足度は前年度と大差なく6割程度と低く、情報提供方法に更なる工夫が必要であると考えています。④医師の病気や治療に関する説明、⑤看護師による説明についての満足度は、昨年より若干向上しており、不満も低下していました。検査技師、放射線技師への満足度は前年より若干低下しておりますが、不満も低下しておりました。特に、放射線技師、リハビリスタッフは、前年に引き続き不満を感じている患者もなく、今後も継続できるよう努力していきます。

病院の印象

	該当なし	有効回答	当年度				前年度	前々年度	前年比	
			不満	やや不満	どちらでもない	やや満足				
①地域における評判	39	206	4	3	44	125	30	155	69.8	78.9
		100	1.9	1.5	21.4	60.7	14.6	75.2		5.4
②治療の満足度	42	214	3	2	36	108	65	173	82.8	—
		100	1.4	0.9	16.8	50.5	30.4	80.8		-2.0

当院を知人に奨めたいか



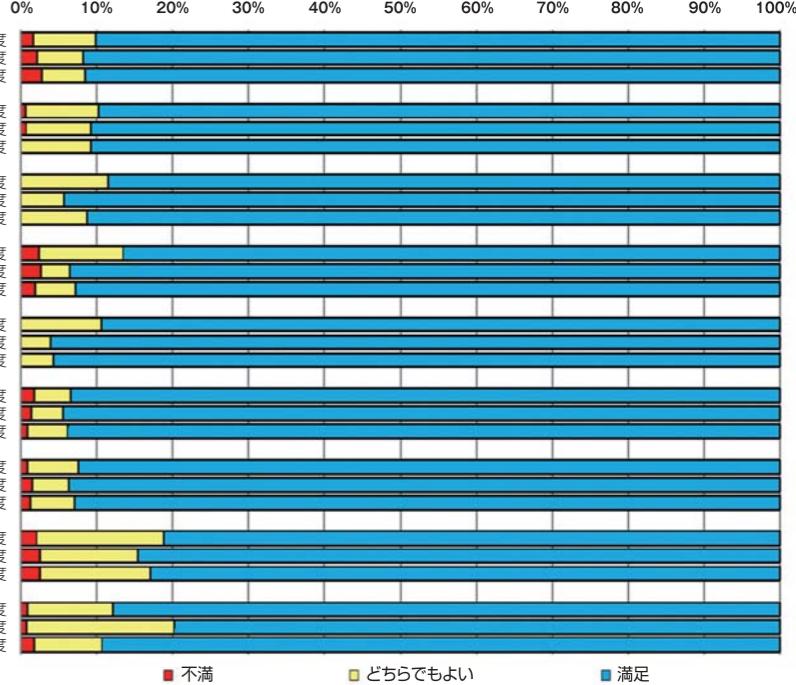
「地域における評判」については75%の満足度があり、前年度より5.4%の上昇であった。「治療への満足度」は80.8%と高い評価を頂いています。「当院を知人に奨めたいか」については、前年度82.8%であったが今年度は93.8%が知人に奨めたいと高い評価を頂きました。「当院を総合評価すると100点中何点か」の問では、83点の回答を得られたが、前年比では-0.9%と若干減少していることから、魅力ある病院づくりへの努力が必要であると考えています。

平成26年度外来患者満足度調査結果報告

外来患者さん300人を対象に満足度調査を平成26年11月に実施し、回収率85.3%でした。
皆様のご協力に感謝申し上げます。

職員の接遇について

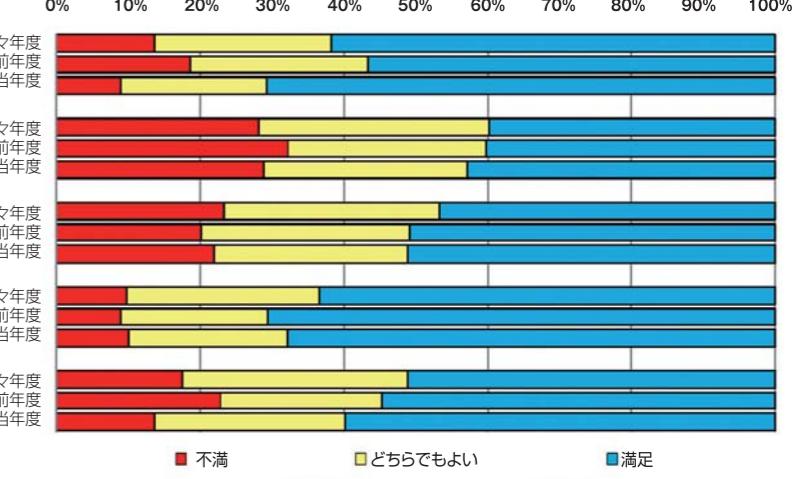
①事務職員の言葉遣いや態度



職員の接遇に関しては、全体的に90%以上の患者さんからの満足が得られました。良い結果となっていました。プライバシーへの配慮・職員の服装・髪型・身だしなみにおいては80%台の満足度であり、概ね良好な結果を頂きました。今後も接遇についての教育・指導や定期的なチェックをしていきたいと思っております。

時間管理について

①総合受付での待ち時間



待ち時間についての満足度は、前年度と比較すると若干は上昇しているものの平均58%であり60%に満たない状況で、皆様に大変ご迷惑をお掛けしております。今後も待ち時間の改善について更なる努力していきます。

外来診察表

診療科目	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
循環器内科 (一般内科)	立石繁宜	福元大地	大牟禮健太	検査日	立石繁宜	予約検査
	吉野聰史	田端宏之	福元大地		吉野聰史	
	田端宏之				大牟禮健太	
	(吉野・田端)	(福元・田端)	(大牟禮・福元)	[第1,3,5] (消化器内科医) [第2,4] (堀之内)	(吉野・大牟禮)	
心臓血管外科		[第2] (熊本中央病院)				
神経内科	児玉大介					
血液内科				新居亮彦		
眼科	平瀬純伸	平瀬純伸	平瀬純伸	手術日	平瀬純伸	予約検査
脳神経外科	手術日	栗隆志	栗隆志	栗隆志	検査日	予約検査
整形外科	恒吉康弘	恒吉康弘	恒吉康弘	手術日	恒吉康弘	予約検査
	藤元祐介	手術日	藤元祐介		内山田桜	
	内山田桜		城光寺豪		鹿児島大学・脊椎専門医	
泌尿器科	井口智生	手術日	井口智生	井口智生	井口智生	予約検査
放射線科	堀之内信	堀之内信	堀之内信		堀之内信	
耳鼻咽喉科 (15:30まで受付)		診察日 (鹿児島大学・耳鼻咽喉科医)			診察日 (鹿児島大学・耳鼻咽喉科医)	
消化器病センター	消化器内科	紙屋康之		紙屋康之 山筋章博	山筋章博	予約検査
	消化器外科 (外科)	手術日	田辺元 今村博	手術日	今村博 崎田浩徳	上木原貴仁 手術日
	化学療法外来	(今村博)	崎田浩徳	(今村博)	濱田博隆	原口尚士
	緩和ケア外来		消化器外科医 (16:00~17:00)		消化器外科医 (15:00~17:00)	
	セカンドオピニオン外来		今村/崎田 (16:00~16:30)			
	胃カメラ 大腸カメラ	山筋章博	紙屋/山筋 熊本大学・ 消化器内科医	紙屋/山筋 (大腸カメラ) 中村直英 (クリニックなかむら)	紙屋康之	予約検査 (熊本大学・消化器内科医)
	肝臓内科	馬場芳郎 (鹿児島厚生連病院/肝臓内科部長)	第1・3金曜日診察(受付 13:30~16:30)	要予約/要紹介		
乳腺外来	吉中平次 (鹿児島大学内分泌外科/教授)	第4火曜日診察(受付 9:00~16:00)	要予約/要紹介			

※各診療科・担当医の診察日を確認の上、「地域医療連携室」を通して御紹介下さい。(要予約・要紹介)

※ただし急患はこの限りではありません。

※一般内科は循環器内科と併用の診察となる為、待ち時間が長くなる場合がございます。

※消化器病センターのみセカンドオピニオン外来を設置、他科については通常外来の時間帯に随時対応。

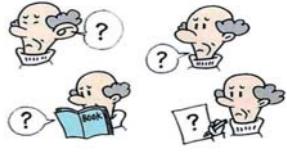
医療機能情報提供について

当院の病院機能やサービスについて県に報告したデータをもとに鹿児島県ホームページにて公開されております。閲覧も可能となっております。また、同内容を1階医療情報センター内で自由に閲覧できるよう冊子を配置しております。

鹿児島県ホームページ <http://www.pref.kagoshima.jp/>

リハビリの窓 ~失語症について~

失語症とは、脳血管障害や交通外傷により、脳が損傷された結果、ことばの能力が障害された状態です。症状として「話す、聞く、読む、書く」ことが困難になる病態のことを言います。



◎失語症には以下のタイプがあります。

1. ブローカ失語

理解することは比較的保たれていますが、話すことが強く障害されます。
「わかっているけど言えない」「すらすらと話せない」などの症状があります。



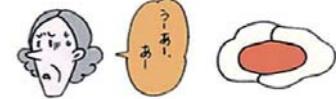
2. ウエルニッケ失語

理解することが強く障害されます。**「話の内容が理解できない」「流暢に話せるが言い間違いが多く、とんちんかんなことを言う」「人の話を聞いていない」**などの症状があります。



3. 全失語

「聞く・話す・読む・書く」こと全てが障害されます。**「自分の言いたいことを伝えることができない。」「単語の理解もできない」**などの症状があります。



◎治療について

失語症の治療は、医師の指示により言語聴覚士が行います。入院1ヶ月間以内は上手くコミュニケーションが取れないために、ストレスを強く感じる時期です。まずは、本人のレベルに合った使用できるコミュニケーション手段の獲得を最優先に行います。その後、検査・訓練を行い、家庭・社会復帰に向けてより高い言語機能の改善を図ります。

◎失語症の方とのコミュニケーションの仕方

1. 話しかけるときは、ゆっくりとわかりやすい言葉遣いで話しかけましょう。

2. 話しかけるときには、やさしい漢字や絵、図などを書いたり、ジェスチャーや実物などを示したりすると、理解されやすいでしょう。

3. 言葉が出にくいときは、「はい」「いいえ」で答えられるよう質問を工夫しましょう。

4. 患者さんの言いたいことを推測して、考えられる答えを書いて示すことも有効です。

5. 言葉が出ないときは、せかさないで少し待ちましょう。ただし、待ち過ぎると、かえって患者さんのストレスになります。

適当なところで、「～のことですか?」などと助け船をだしてあげましょう。

6. 患者さんの言い間違いを、とがめたり、笑ったり、何度も言い直しをさせたりすることは避けてください。

7. 失語症の患者さんは、五十音表で、うまく言葉がつづれないことが多いので、使わないでおきましょう。



◎失語症に関するQ&A

Q1. 言い間違いは直した方が良いのですか?

答え: 言い間違いに気づいた際は、言い直しをさせるのではなく、前後の文脈から言いたいことを推測するなど工夫が大切です。

Q2. 言っていることが分からぬ時、聞き返した方が良いのですか?

答え: 時々聞き返すのは構いませんが、何度も同じ聞き方をするだけでなく、絵や文字を見せ話の内容を理解するように工夫した方がいいです。

Q3. しゃべらないと話せなくなりますか?

答え: しばらく会話をしなくても、全く話せなくなるということはありません。しかし、人間にとって「話す」というのは人間の能力の一つです。で、たとえ満足のいく会話が難しくても、人とコミュニケーションを図ることは言葉を促す良い刺激になると考えます。

Q4. 失語症は認知症と同じなのですか?

答え: 認知症と失語症は別物です。認知症とは、物忘れや徘徊などの問題行動を起こしやすいですが、失語症では物忘れではなく、上手く言葉に出せないなど言葉の障害に限局されます。

Q5. 失語症は治りますか?

答え: 一般的には100%の回復は難しいのが現状です。しかし、失語症は長期に亘って緩やかに改善するため、日常生活場面でのコミュニケーションが非常に大切です。また失語症を患っていても社会生活に復帰する方も多くおられます。

◎言語聴覚士について

言葉障害や食べ物を飲み込むことの障害分野を専門に対応する職種です。当院では大人から子供まで、幅広い年齢の方に対して訓練・指導・サポートを行っています。

(文責:川元)